

訪日客数 単月で過去最高

日本へのリピーターも増加 訪日客数4,000万人の早期達成なるか

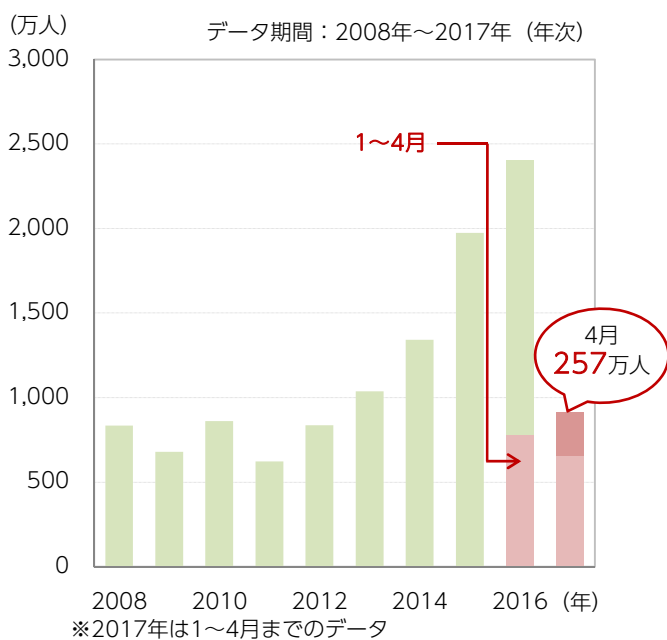
- 2017年4月の訪日外国人旅行者数は257万人となり、単月としては過去最高となった。
- イースター休暇の影響や大型クルーズ船・格安航空の利用が増えたことが要因か。
- 観光客の消費が“モノ”から“コト”へ移行したことから日本へのリピーターも増加。

2017年4月に日本を訪れた外国人観光客が、単月としては過去最高となる257万人に上りました（図表1）。体験を楽しむ“コト消費”の拡大やクルーズ船の寄港数の増加などが寄与し、前年同月比で23.9%増加しました。1～4月の訪日客数も前年同期比で16.4%増加の911万人となりました。また、5月13日時点の2017年の訪日外国人客数は1,000万人を超え、昨年より23日も早く、突破ペースは過去最速になりました。昨今、中国人観光客の『爆買い』が縮小するなか、観光客数の増加が国内の観光消費を下支えしているとみられます（図表2）。

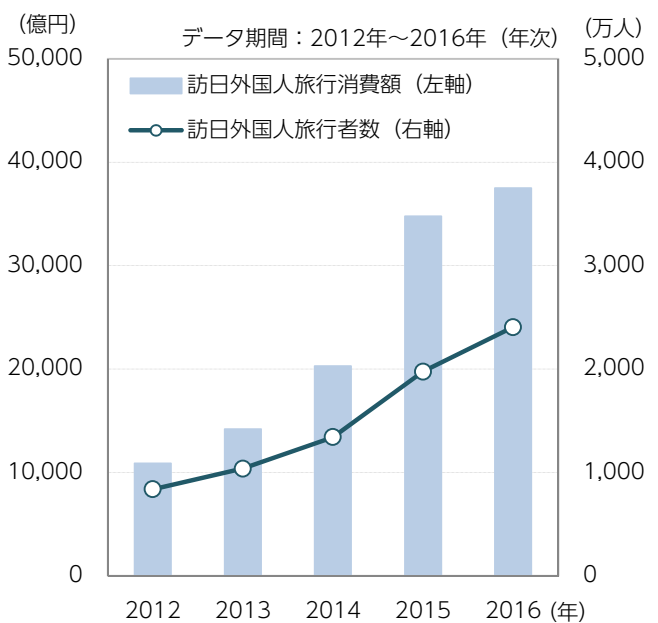
日本政府観光局（JNTO）によると、今年4月は、これまでもっとも多かった2016年7月の229万人を28万人上回り、国・地域別では、韓国が55万人と前年同月比で56.8%増えたほか、香港が20万人と64.6%伸びました。台湾をはじめ13の国・地域で訪日客数が過去最高を記録しました。昨年は3月中だったイースター休暇が今年は4月だったことの影響や、大型クルーズ船や格安航空の利用が増えたことが要因と考えられます。

観光目的としては、中国人観光客の買い物『爆買い』中心だった従来の傾向から、地方観光や日本の文化、伝統を楽しむ体験型のいわゆる“コト消費”へのシフトが観光客数の増加をけん引したものとみられます。外国人観光客の消費が“モノ”から“コト”へ移行したことにより、近年は日本へのリピーターも増加していることから、今後も訪日客数の増加が見込まれており、政府が目標とする2020年の訪日客数4,000万人の早期達成も期待できるかもしれません。

図表1：訪日外国人旅行者数 単月では過去最高



図表2：観光客数の増加が国内の観光消費を下支え



出所：図表1は日本政府観光局（JNTO）、図表2は観光庁のデータを基にニッセイアセットマネジメントが作成

●当資料は、市場環境に関する情報の提供を目的として、ニッセイアセットマネジメントが作成したものであり、特定の有価証券等の勧誘を目的とするものではありません。実際の投資等に係る最終的な決定はご自身で判断してください。●当資料は、信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。●当資料のグラフ・数値等はあくまでも過去の実績であり、将来の投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。また税金・手数料等を考慮しておりませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。●当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。●投資する有価証券の価格の変動等により損失を生じるおそれがあります。●手数料や報酬等の種類ごとの金額及びその合計額については、具体的な商品をお勧めするものではないので、表示することができません。●当資料のいかなる内容も将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。

商号等：ニッセイアセットマネジメント株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第369号
加入協会：一般社団法人投資信託協会 一般社団法人日本投資顧問業協会

ニッセイアセットマネジメント 1/1